

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	入居者より聞いた事や入居者について気づいた事を書くノート(個別情報ノート、気づきノートはあるが記入量が少なく上手く活用ができていないため情報共有が不十分である。	入居者についての細かな情報を共有することができる。	ヒヤリハットシートの様式で気づきシートを作成し8月より記載していく。 毎月集計しミーティング等で話し合う事で情報の共有を図っていく。 集計した記録をファイルに綴じ情報ファイルとして閲覧できるようにしていく。	6ヶ月
2	13	スタッフ間の連携等で声かけはできているが、その後の確認が不十分であり、スタッフ間の関係性、連携が上手くとれていない。	スタッフ間の連携が強くなりチームケア力が向上する。	ミーティングや懇親会等で話せる機会を設け懇親会は、2ヶ月に1回開催を目標にスタッフのストレスケアに努める。フロアの目標としてチームケアに繋がる目標を設定し見える所に貼りだす。個別の面談等でユニットリーダーより各スタッフに要望として話し意識してもらい必要に応じて職員に随時声をかけていく。	12ヶ月
3	36	接遇において、入居者との関係性も考慮するが言葉使いや態度、対応等に第三者が見た場合におかしいと感じられる場面がある。	丁寧な言葉遣い、優しさを感じれる対応ができる。	フロアの目標として職員に意識付けを行い改善できるまで、ミーティングで話し再度確認していく。個別の面談等でリーダーの要望として話す。介助や介護に対して必要である言葉掛けに関しては、なぜそうしているかを新人職員にリーダーより説明していく。	12ヶ月
4	13	新人研修を期間や方法、業務基準などOJTシステムを作り行っているが上手く育成できていない。	わかりやすい研修方法を確立し実施できることで辞めない職場作りを目指す。	OJTシステムの見直しを行い、実効性のある新人研修マニュアルを作成、実施していく。	12ヶ月
5	35	防災訓練は定期的実施できているが地域との協力体制が整備できていない。	地域に根ざした、また地域での役割を担えるグループホームを作る。	地域との防災協定を結び地域の防災拠点としての役割を果たせせるようにしていく。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。